

## 【鳴門市行政評価】

## 平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

42

## ◎基本情報

事務事業名	旧ごみ焼却施設解体撤去及び跡地利用推進事業			担当部署	市民環境部環境局クリーンセンター管理課 企画総務部危機管理課	
総合計画体系				根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間	開始	平成 22 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			終期	～平成28年度
(小項目)		ごみ処理				
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進				
基本事業	4	旧ごみ焼却施設の撤去と跡地利用				

## ◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
		旧ごみ焼却施設														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	旧ごみ焼却施設等解体撤去事業を進めるとともに、跡地利用についても検討する。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	解体撤去した跡地で土壤調査を実施する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ごみ処理施設解体撤去建物面積</td> <td>5,114</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	ごみ処理施設解体撤去建物面積	5,114	-				m <sup>2</sup>
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
ごみ処理施設解体撤去建物面積	5,114	-				m <sup>2</sup>										

## ◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	解体撤去した跡地で土壤調査を実施した。							
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
		指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	跡地利用庁内推進委員会開催回数	0	0					回
	2								
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ごみ処理施設解体撤去建物面積		5,114	-	-	-	-		m <sup>2</sup>
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-		%
今年度の進捗状況		完了		事業全体の進捗状況			-		

(千円)

財源内訳	年 度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	1,800	1,800
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	1,800	1,800
		決算額	0	0	0	0	692	692
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)			臨時職員(2,043千円/人)		総人件費	総事業費
		0.1		0.0		713		1,405

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：旧ごみ焼却施設解体撤去及び跡地利用推進事業】

事業費推移	年 度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	157,774	692			
	うち一般財源	6,874	692			
	人件費	1,372	713			
	総事業費	159,146	1,405			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		土壤調査の結果、全ての項目について国の定めた基準値を下回っていることが確認できた。
	効率性	A:効率的だった		計画どおり、土壤調査が完了した。
②成果に対する評価	指標名	ごみ処理施設解体撤去建物面積		平成27年度に施設の解体撤去を行い、平成28年度は解体撤去した跡地の有害物質の有無に関する土壤調査を実施した。
	目標	-	m <sup>2</sup>	
	実績	-	m <sup>2</sup>	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		解体撤去した跡地の有害物質の有無に関する土壤調査を行い、全ての項目について国の定めた基準値を下回っていることが確認できた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度				
	H30年度				